

【 J P A ホームページに東日本大震災に関するページを立ち上げました】

<http://www.nanbyo.jp/>

リンク 1 は、 J P A からの情報を流します。

リンク 2 は、震災情報用ブログにリンクしています。

直接のアクセスはこちら <http://blog.goo.ne.jp/jpa2011>

\* こちらにも、みなさんからの情報をお寄せください。

（管理者の判断で、不適切と判断した書き込みについては、掲載を取り消さ せていただく場合もありますので、ご理解ください）

【患者団体のうごき】

○日本肝臓病患者団体協議会（日肝協常任幹事・西村慎太郎さんからのメール）

シトルリン血症友の会 事務局 北澤 健二さんからのメールです。

-----ここから原文-----

東北地方の我が会の安否情報。

秋田…家族全員無事。昨日から P C メール復活、物資が少ない（食料が特に）宮城…家族各全員無事。 ライフラインは、序所に回復しつつある。

当面は食料が心配。避難所でなく、自宅にいる人もいる。

福島…家族不明（連絡つかず）。伝言ダイヤルにて確認中。”伝言”がない。

他の患者会情報だと、放射能から逃げているので無事でも連絡が取れない。

（携帯の電源がない）

・携帯メールが地震発生の翌日から連絡がとれるようになった。

福島の 2 名は携帯メールアドレスがなく安否確認が困難な状況。

・薬は各自、備蓄があるようだ。

・東北大、仙台市立病院とも、薬剤不足。燃料も枯渇しつつある。

・横浜東部病院は、通常に動いている。（電気の供給が不安定だが）

（大浦先生ら、複数の先生からの情報）

・東京会員から帰宅難民で家に帰れず、免疫抑制剤を 2 日服用できてないとメール。（肝臓移植した会員）：担当医に連絡済み。

・信州大の矢崎先生からピルビン酸ナトリウムのストックがあるので、提供することも可能だが郵送する手段がないと。

・東北会員の来期会費免除を決定しました。（状況により複数年行うこともあり）

（事務局：北澤健二）

【その他】

○元JPA役員、和歌山県難病連の森田良恒さんが日赤へ1000万円の寄付  
(3月16日、朝日新聞和歌山版記事詳細)

「亡き娘の恩返し義援金1千万円」(記事詳細)

紀の川市不動寺住職 森田 良恒さん

3月16日 朝日新聞和歌山版掲載

紀の川市北涌にある不動寺の住職森田良恒さん(60)が15日、東日本大震災の被災地に贈ってほしいと義援金1千万円を同市役所に託した。

市はさっそく日本赤十字社県支部(和歌山市)に届けた。

森田さんは1985年に当時5歳の次女を胆道閉鎖症で亡くしている。生後間もなく、専門医のいる東北大学付属病院(仙台市)に約1年半の間入院したといい、「医師や看護師らにお世話になったことが忘れられない」と寄付を思い立った。

現在は紀の川市難病患者家族会の事務局長を務めている。「タイガーマスク運動」が盛り上がった1月には、市出身の医師華岡青洲の名義で会に100万円の寄付があった。

森田さんは「今度は私が少しでも助けになりたい」と話した。(記者・燧正典)

☆続報で、各団体からのメールなどを紹介していきたいと思います。